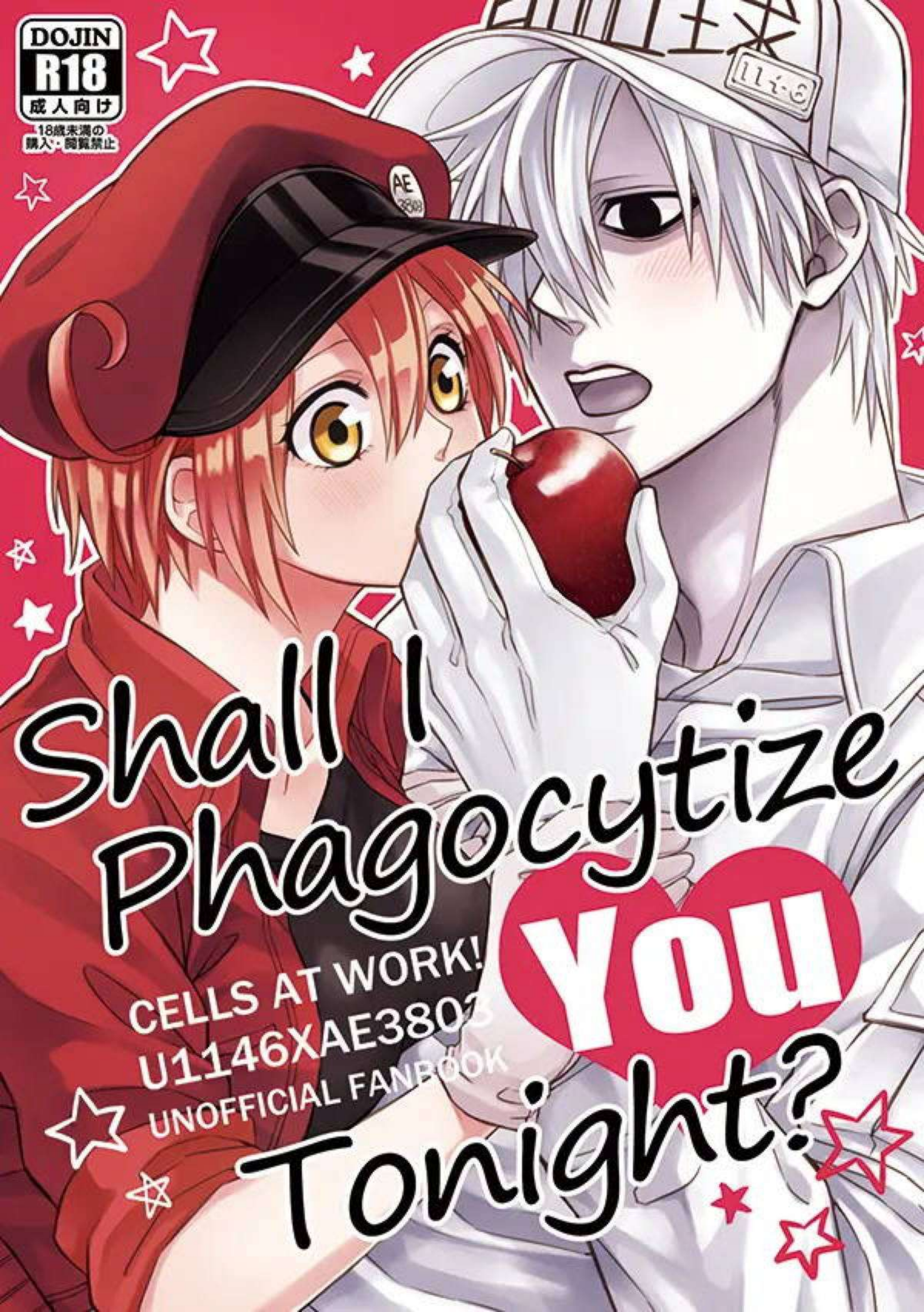


DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



Shall I Phagocytize

YOU

CELLS AT WORK!
U1146XAE3803
UNOFFICIAL FANBOOK

Tonight?

禁断の果実
エデンの園に生長する
善悪の知識の木の果実

この実を食べると
善悪の判断ができる
神に「アダムとイブはこの樹の実
だけは食べることを禁じられる
そうでなければ二人は死ぬのである

おい〜
1146番

結局 アダムとイブは
誘惑に耐えられず
禁断の果実を食べ
天罰を受けるところで
物語が終わった

おう
お前たちか

うわ〜
また難しい本
を読んではか

「仕事以外のことは知る必要はありません」と俺たち細胞にそう言ってるように――

1146番本当に
勉強好きだね

さすが
優等生！

まあ〜
それも1146番
の特徴だし

せっかく好中球先生
がいないから
鬼ごっこをするか？

おお
いいね

じゃ
鬼は1146番
にきめた！

はあ
なんで俺？

おい〜
待て〜!!

わいー
鬼が来るぞー
はやく
逃げろ

そうであるはずだ



今赤血球との
この行為は

うっ！

うっ
うっ

うっ
うっ

ん…

この世界で
メリットはなく



不要な知識だ—



はあ

はあ

はあ



あの白血球さん聞いてください

今日自分の最高記録を破りました迷子是一回だけですよ！

おお！お前すごいな

えへへへ迷子の白血球にならないうようにもっとがんばります！

うん！

白血球ならきつとできるさ！

だが無茶しちゃうだめだぞ！

はい！

もっと…もっと白血球のことが知りたい



あとあと今日配達が終わったとき近くで新発売の季節限定グルコースを見つけてました！

んん

あれも

すごくすごく美味しいですよ！

幸せ！

そういえば、白血球の体から甘い匂いがする…グルコースを食べたからか？



それと…

o(≧▽≦)o

……

ああ——白血球本当に可愛いな…

食べたいな

ん!?

いまの

なんだ?

白血球さん
聞いてます?

白血球さん
きつすぎます…

…あの

赤血球を
食べたい
だと?

ややや!
きつと何か間
違っている—

赤血球がどれほど
おいしく見えても

まさか
貪食作用
の影響か?

よお赤血球
どうした?

おめえ
力強いな

もういっ
白血球さんが
抱きつきすぎ
てつらいです
よ!

すまない…

白血球さん…

きついです—



あと、さっきから白血球さんの仕事道具がずつと私に当たってるんです！



でも... お腹にさっきからなんか硬いものがあったって... ちよつとおかし...



仕事道具？ ナイフか？ ナイフならちゃんと太ももと腰に収まっている、赤血球に当たらないはずだ



白血球さん？ どうして急に黙るんですか？



仕事道具というか... うん... まあ武器の二種ともいえるだろう... 男性型の細胞みんな持っている武器だ...

や... その...





俺も大好きだ

うん

うっ！

白血球さん
腰のものを
どかしてくれ
ます？

うん



いや
何でもない

白血球
すまない！

少し、このまま
でいいか？
すぐ収まるから

!?



はい、
ううですよ！

大好きです
白血球さん！







ああ—
そういうことか…



えっ
どうした？

細菌か!?

デカイ音
だぞ！

ざわ

ざわ

俺死にたく
ない！

逃げろ！



この欲望—

どうすれば
いいのか…

白血球さん！



声、表情、反応…どんなおまえでも全部知りたい…



なあ…赤血球…



教えてくれるのか？



ずん

AE
3803

めぢや暗い



あら
ここに
いるんだ!

最近仕事
はどう?



先輩……

うわ!?
CO₂

相変わらず
迷子かい……



先輩く
聞いてくださる

え!
どう
したのよ?

ズン

先輩く

いいから
話を聞くから
落ち着いてよ!

あの好中球と
もう二週間会わ
なかったって？



ほんとうに...

そうです...
普段なら一日
少なくとも一
回会えるはず
なのに...

仕事で忙しい時期も
時間を作って会います

こんな長い間も
白血球さんに
会えないのは
初めてなんです...



白血球さんに
何かあったの
かな？

私もう白血球
さんとは会え
ないんですか
先輩~~~~

はいはい
わかったわ!!

近くて喋ら
ないでよ!



とにかく
落ち着いて

あー丁度いい
おい、
そこの好中球!



俺?

そうそう
聞きたいことが
あるんだけど

ちやうど
こうおにやてんてん



1146番なら

今朝一緒に仕事
したばかりだ！

あいつは
イキイキしてたぞ

オラオラ
オラオラ
オラオラ

死ね雑菌が
死ね!!!

いつかは
殺さるんだぞ

そ…
そうなんですか

まだ生きています!!

あ
2626番さん
ありがとうございます
ございます

お仕事中申し
訳ありません!

大丈夫だ!
そんなに気に
しなくていい

じゃあ
俺こっちへ
パトロールに
行くよ!

BYEBYE!

よかった!

白血球さん
無事だって!

うい

ほら
きいなさー!

二週間前
つまり君たちが
最後に会ったときに
何があったのか?

うい

へえ？
どういう
ことですか



はあ、
まだわから
ないの

う！

この世界は
最近病氣も痛みもない
すこく健康的で平和な
状態なんだよ
つまり、今好中球たちが
暇ってこと！

37兆2千億分の1の確率を
無視して、毎日奇跡的に一回
会える君たちが…急に二週間も
会えないなんて



この状況で考えられる
のは…あの好中球が
自ら君を避けて
いたんじゃない？



白血球さんが
自ら私を避けている!?



AE
3803

どうして？



だから

二週間前いったい
何があったか
その何かがあの
好中球が君を
避ける理由だよ！

この感触
たまらないわ
あー柔らかい

ほら
全部白状
しなさい！

うう…

は、はい！





あー!!

どうしたの？
心当たりか!?



う…えっと…

思い出しました…最後に
白血球さんと会ったときは…



あの日の最後
白血球さんと
その…キ…

きゅん

キスをしたんです…

うわー
驚っちゃいました



でも
二週間前

ただいつものように
白血球さんと
お茶を飲んで
その日の出来事を
話して

それで
休みが終わったら
暇を告げて
お互いの仕事に
戻り…

BYEBYE

BYE
BYE!



しかも
前のキスとは
ちよつと違
います…

思い出したら

あの日のキスは
したことのない
すごく激しい
キスです

心臓が裂けちやいそつで

そういえば
あの日の白血球さん
なんて言えば
いいかな…

普段の白血球さんは
かっこよくて
まるでヒーローみたい
に凛々としていますね

激しくドキドキする

でもキスのときの
白血球さんは…
すごくセクシーで

白血球さんに
食べられちやい
そうな感じが
します…

うわあああゝゝゝ
恥ずかしいですゝ
溶血しちやいます!!!

あ、そう

テレ
テレ

あのさ
君たちもう付き合って
2ヶ月でしょ？
どこまで進んだ？
前から聞きたいけど

キス以上
のことは
した？



〇〇〇〇
2...

キス以上？



なるほど...

まだあの好中球に
抱かれていないよ
ね...

ジーン
ジーン



ありがとうございます！

おつかれさま
のハグ!!

ハグなご



何か落としま
した...？

とっとうしたん
てすか...



あ！



白血球さんだ！



よう…
赤血球…

久しぶりだな…

びる…

偶然だな
たまたまこっちで
パトロール中だ…

お、おう
お疲れさん！

白血球さん
お久しぶりです

お疲れ様
です！

よかったね
やっと会えたよ

えへへへ
あ、先輩
話を聞いてくれて
ありがとうございます

まあ、あんたたち
ゆっくり話そう
私仕事に戻るわ！

あんたも仕事がんば
らなくちゃ！

うっ、はい
わかります！

じゃ
またね！

はい！
せんぱい
またね！

そして
貴方

言いたいこと
あるなら
はっきり言え！
このタイミングで
逃げるなんて
ありえないわ！

あの字は強さか
子じやないん
だから！

ぱーん！

うっ！！

免疫細胞なんてしよ
じゃあ細菌を殺す
気迫を出してよ！

！？





最近…軽く触る
だけじゃ満足
できないんだ…

キスだけではなく
その先のことも
おまえとしたい…



俺は不甲斐ない
男だから



その
赤血球

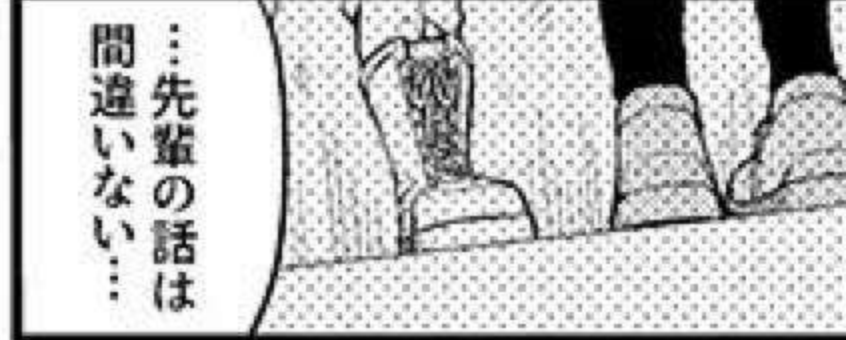
おい、何か
あったか？

あそこの好中球、
赤血球の女の子
とけんかしている？



……
ここが不便だ
あつちで話
しようか…

あ、はい！



…先輩の話は
間違いない…



おまえに
会いたい

おまえの全て
がほしいんだ

おまえの声
が聞きたい

おまえを
触りたい

だから、この数日間
自分を落ち着かせよう
としていた…

しかし会えない
ときは、逆に欲望
がますます膨らん
でいく…

……

徐々に

白血球
114-E

俺は決して
自分を許せ
ない

そんな自分が
怖くなった

もしコントロールを
失っておまえを
傷つけたら...

だから...

んっ...

白血球さん
聞いてくれ
ます？

白血球さんに
会えないときは
すごく寂しいん
です...

白血球さんは今どこ
にいるんだろうって
何してるんだ
ろうって

ゆっくりお茶を飲んで
パトロールしているかな
一生懸命殺菌しているかな
怪我はありませんか？

毎日毎日
明日会えるかなって
期待しています

でもずっと
貴方に会え
ないまま...

白血球さんに
何があったかって
心配しはじめて

白血球さんが
まだこの世界に
存在している
かなって...

私知って
います

白血球さんの
仕事はいつ事故が
起きてもおかしく
ありません...

白血球さんが
私の知らない
間に



この世界から
消えるかも
しれない…

そう思うと…
とてもとても
怖いです

私はね

白血球さんが
私に何をしても
全部受け入れる
自信がありますよ

だって

白血球さん
のこと大好き
なんですから！

だから白血球さんは
怖らなくて下さい

あ！

もう私を避ける
のはダメなんで
すからね！



悪い
赤血球

うんっ！

すまない
すまない…

心配させ
ちまって

大丈夫です
謝る必要なんて
ないですよ

もし
白血球さんが
ほしいなら

私の全部
あげても
いいですよ

そのかわりに
白血球さんも全部
私にくださいね！

ああ
全部おまえに
あげる

残りなく

ハッ
ハッ

！！



その晩



うわああー
白血球さんの家に
来ちゃいました…

ドキドキ



こんなとき…
何を言えばいいんだ？

ドキドキ



大事な場面で
逆に緊張しすぎて
混乱する二人

そわ

そわ

あろ

あろ



これから
白血球さんと
性交します!!
ですよね!

赤血球の成長期は方向音痴を治すために、ほぼすべての時間を地図の研究に使っていたので、性に関する知識は好中球の制服のように潔白である
(雑登ボイス)



まずい…
活性化する
ところだった

私は優秀です

赤血球の後輩か…
油断できないやつだ



白血球さん
大丈夫ですか
いっぱい汗か
いちゃって…

うん、大丈夫だ！
これは緊張の汗だ



あ…白血球さん
も緊張していま
す……

よかった

えへへ

ちょっと嬉しい
私だけが緊張している
わけじゃないんですね！



……赤血球…

おはよう…





その…

赤血球

触っていいか？



ああ…

この人いつ
でもそっぴです



こんなに好きになっちゃいました

自分より
人のことを
心配して



私は白血球さんの
ことが好きです！

傷だらけになっても
みんなの前に立って
守ってくれる



俺も赤血球のことが
好きだが、おまえ
と一緒に居られない、
すまない



え、どうして？

理由なら、おまえも知っている
はずだ…俺は免疫細胞だ
俺と一緒にいても赤血球に
メリットはない…

でもこんな白血球
さんだからこそ

白血球さんが免疫細胞
であることは最初から
知っています

この理由じゃ納得
いきません！他の
理由で説得して
ください！

え？せ、赤血球！？

いいですよ

ありがとう
赤血球

こんな俺を
好きになって
くれて

ありがとう——



赤血球…

可愛い…

可愛くて…

美味そうに
食べたいな

ジュウ…

私は細菌
じゃないですよー！



もし赤血球が
細菌だったら

そうだな

!



きつと
うまいだろっ



自血球さんに
貪食されるん
ですか?



味ならー!...
やっぱイチゴの
味だな!

赤血球の体はいつもかすかな
イチゴの香りがするぞー

そ、そうなん
ですか...

もしかして
私...

んあ！

あっ

聞いたことのない甘い喘ぎ声

かっ

ああ！

うん…

胸が白血球さんに貪食されて…

んはあ

はあ…

とろんとした表情

震えている体

白血球さん…

俺だけが知っている赤血球…

どうかした？どこか気持ち悪いか？

あっ

可愛い！



まさか…



はい…

下がさつきから
変な感じが
します…

え？・下？



えっと
おかしい
です…

おかしい？



じじじ？



赤血球
大丈夫か？

す、
すまない！

オロオロ

へへいきです…



ここか？

うっ！

サリ

もっと上
の方に…



ただ

白血球さんに
触られた
ところが…

とじも気持ち
こころす…



ドキン



待ってください
そうだ！電気！

せめて電気を消して
ください！こんなに明るい
恥ずかしいんです



え？
は、白血球
さん？

ぽ

ズンズン



ズンズン
ズンズン！

…すごいな



もうこんなに
トロトロに
して…

ズンズン

ズンズン

ズンズン



だ
ダメです！
あそい汚い
ですよ

あ
ズンズン
ズンズン



白血球の匂い…

は、白血球さん 匂いを嗅がない てください！

ふんふん…
白血球の匂いは ずっといい香り ができるぞ



うっ



ふんふん

かめん!!

はあ!

かあ



んあ



ああ…本当に 可愛いな…

はっ…



そこだめっ やんっ



はあ…



はあ…

赤血球
気持ち良いか？

うっ

はあ

ん…

気持ちいい
ですよ…

表情も

声も

ガッ

うっ！

この体は

全部全部

続きましよう
白血球さん



ちよっと我慢して

痛くなるかもしれないが

はいっ!



赤血球

はあ

はっ

俺のものだ

入れるぞ



ず...

うっ...

ん...

あっ!



全部入れた...



赤血球

ごめん痛いだろ

ごめん

痛いっ...

びる...



赤血球

サラ

ふん
平気です…

はあ



あんな大きいものが
今私の体の中に
いるなんて…

お腹の中が
熱くて…



どうした？

まだ痛い？

でも



ちよつと
不思議な感じ
です！

えへへ

……



あんな
大きい
ものが

私の
中
に
いる
いる



あ！

また大きく
なってるう

生き物
みたいす

すまない！

あれも一応
俺の一部だ…





気持ちいい

はっ

はっ

はっ

気持ち
良すぎて

頭が全然回らない

んあ

ぐっ…ごめん

ちゅっ♡

は…はっけつおきゅう…
さあん…おねがい…

もじと…
ゆっく…

あ♡

俺もそのつもりだ
だが…

腰が…
止まらないっ

あっ

ごめん!!

やあん♡

ひいあっ

はっ…赤血球

こんな快楽
生まれて初めて
味わった

んあっ♡

白血球さんが
こんな必死に…

ちゅっ♡



回...回...

あ

う

い

は

心

い

い

い

は

体

う

い

い

い

赤血球から離れなくなる

も

い



凄く...
幸せ

うう...白血球さん

重い...

はっ...!!

はあ...

んはっ...



はっ!?

はっ

わあ
すまない!!!

重いだろう



今すぐ
脾臓に行く

え
脾臓!?



は、白血球さん
ちょっと落ち着いて
こんなかすり傷大丈夫ですよ
全然痛くないですから!!

あああ白血球さん



俺が... 固。
赤血球を
傷つけた



噛み痕

アザ

爪痕

えっ?
中から何か
出てきました...

白血球さん
もう落ち着き
ましたか？

結局、赤血球が白血球の体に
同じ跡をつけることでチャラ
になり、やっと白血球の暴走
を止めた。

うっ…

ごめん

あつ

そうだ！

ごめん

白血球さん！

これからも
よろしくお願
い
します！

もっと仲良しに
しましょうね♡

たぶん

うん

いつか
俺は他の仲間のように
この世界のために殉職
するだろう…

だが

この短い人生で
おまえが傍らに
いてくれて

こちらこそ
よろしくな

俺はなんて

幸せだろう

えへへ
任せてください

END



あのさ
君たちもう付き合って
2ヶ月でしょ？
どこまで進んだ？
前から聞きたいけど

キス以上
のことは
した？

あの日の最後
白血球さんと
その…キ…

きゅー

キスをしたんです…

もじ

もじ



いや
何でもない

ガッ



え？
は、白血球
さん？

ぱー

びゅん